



6次産業化アワード

協議会奨励賞



有機ぼうむと有機ジャージーアイスクリーム

有限会社黒富士農場

◆山梨県甲斐市

平飼い鶏卵でSDGsに対応
有機鶏卵を使った加工品を展開

平飼いにより生産した鶏卵の生産・加工・販売を行っている。SDGsにつながるアニマルウェルフェアやオーガニックを広げるため、情報公開と他社への技術指導を行っている。2007年には日本初の鶏卵の有機JAS認証を取得。直売所に加工場を併設し、有機加工食品の認証を取得した有機ジャージーアイスクリームや有機バウムクーヘンなどを製造・販売している。



有機飼料は自社生産と独自ルートで調達

有機畜産物の加工食品は市場に多くあるとは言えず、特に国産品を選ぶことは困難な状況にある。このような状況を少しでも改善したいと願い、有機による鶏の飼育を開始した。現在17haの敷地に約7万羽を飼育している。平飼いは現状では半数程度だが、将来的には全数を目指す。

有機鶏卵の生産で最も重要なことは有機飼料の確保。原材料の有機農作物は国内調達が容易ではないため、自社農場でエゴマなどの有機栽培を行うとともに、有機加工食品などを製造している企業から食品残さを入手している。不足分については

飼料メーカーと共同で独自の輸入ルートを構築し、国内の有機畜産の普及につなげている。

2020年には山梨県の有機JAS認証を有する3社と共同で開発した「有機ジャージーアイスクリーム」が有機JAS認証を取得。続いて自社で開発したバウムクーヘン「有機ぼうむ」も有機JAS認証を取得し、同社の直売店兼加工場で製造・販売している。



アニマルウェルフェアの平飼いを進める

家畜を感受性のある生き物として、できる限り健康的な生活ができるよう扱う「アニマルウェル

受賞の喜び

この度は栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。有機やアニマルウェルフェアが評価される機会はまだまだ少ないので、これを励みにして一層努力いたします。

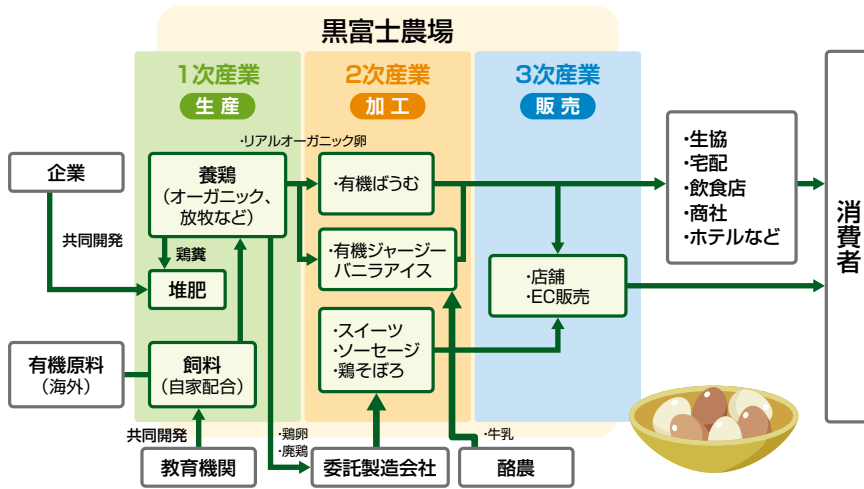
黒富士農場



直営の塩山店で「有機ぼうむ」を製造・販売

組織概要

- ◆社名・団体名：有限会社黒富士農場
- ◆代表者名：代表取締役 向山 洋平
- ◆住所：山梨県甲斐市上芦沢 1316
- ◆連絡先：05-277-0211
- ◆創業：1984年
- ◆主な産品：鶏卵



有機JAS認定の「有機ぼうむ」

フェア」の考えにより、大手飲食店などでは、鶏を狭いケージの中に入れず、平飼いや放し飼いやなど野生に近い環境で飼育した「ケージフリー」の卵を使うと宣言するケースが増えている。この需要は今後ますます高まると予想されるため、黒富士農場では今後はすべてをケージフリーにする方向である。

消費者のオーガニック志向の高まりに対応するため、有機飼育と、有機加工食品の開発にも取り組んでいる。しかし、有機市場は自社だけで完結するものではない。有機加工食品の場合は鶏卵以外の原材料もすべて有機である必要があり、飼育に必要な有機飼料の確保も1社だけでは容易ではない。そこで、自社で培った技術を他社に情報開示し、技術指導するなど、協力・提携関係を念頭に



黒富士農場の平飼い

置いた上で、生産者や事業者を増やす努力を続けている。



規模の拡大より後継育成と市場活性化へ

鶏卵のうち生鮮品として出荷できないものは加工食品の原材料として活用するなどにより、出荷率は95%まで高まり、収益性が大幅に向上した。平飼いの鶏卵の需要は高まってきており、事業拡大のためには生産力を高める必要がある。しかし、同社では自社の生産規模を拡大するという路線は考えていない。

平飼いに転換する生産者への技術指導や支援を行い、そこで生産された鶏卵を買い取るなど、同社のネットワークで販売することで安定した生産につなげ、市場全体の活性化を図りたいとしている。

審査員より

希少なJAS認証鶏卵を生産し、平飼いの技術も極めて高い。拡大路線ではなく、生産技術という資源と製品価値を高める仕組みを他の生産者に提供するなど、新たな日本農業の「仕組の共有」に期待したい。

鎌田 真吾